

今後の道路行政についての意見・提案

平成20年10月

和歌山県

1. 道路は地方にとって将来のチャンスの保障

道路は、商工業・観光・防災・医療など、あらゆる活動の基礎となるインフラであり、ナショナルミニマムを保障する根本。本県では、江戸時代は廻船航路の寄港地として栄え、鉄道も昭和34年に紀伊半島一周がつながり、この時代までは国策で全国に交通ネットワークが形成され、チャンスが与えられていた。しかし、モータリゼーションの時代になり、未だ本県は高速道路の空白地。本県にとって高速道路を初めとする道路ネットワークの確立は、「医療・教育機会の平等など人が暮らすための平等な権利の保障」、「企業立地や観光・農林水産業の振興など経済活動の基本的なチャンスの保障」、「大規模地震などの自然災害への備え」として不可欠であり、公平性の観点から早期整備が必要。

江戸時代は
寄港地として栄えた

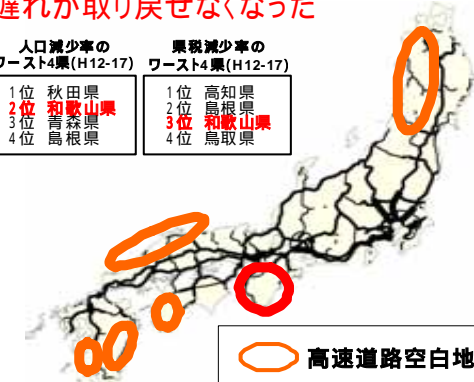


鉄道は
昭和34年に繋がった



高速道路時代は未だ空白地で
遅れが取り戻せなくなった

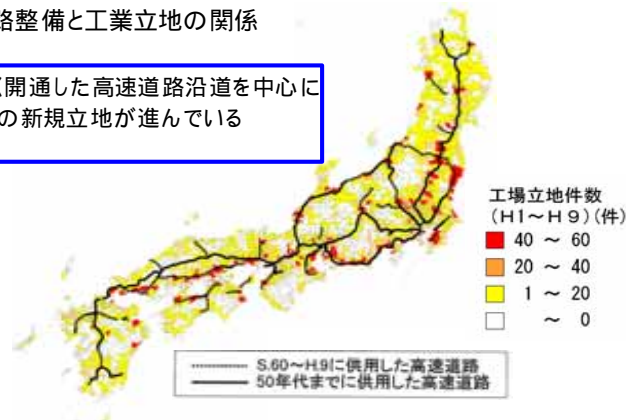
人口減少率の ワースト4県(H12-17)	県税減少率の ワースト4県(H12-17)
1位 秋田県	1位 高知県
2位 和歌山県	2位 島根県
3位 青森県	3位 和歌山県
4位 島根県	4位 鳥取県



モータリゼーションに取り残された和歌山県

高速道路整備と工業立地の関係

新しく開通した高速道路沿道を中心に
工場の新規立地が進んでいる



新規産業の立地には高速道路が不可欠

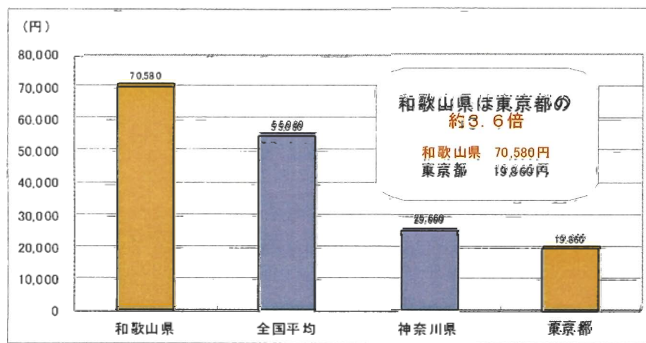
今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

2. 今後の望ましい道路整備のあり方

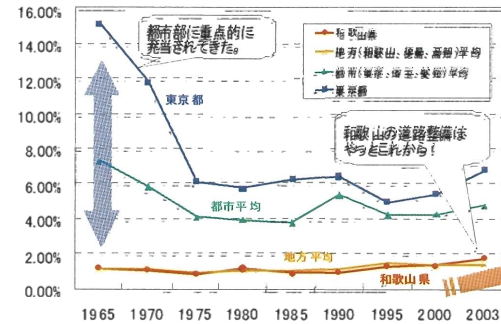
- 効率性、採算性から東京などの都市部が優先的に整備されてきた結果、地方の道路整備はやっとこれから。
- 地方の道路整備を打ち切るのであれば、これまで先行的に都市部の道路整備に投資されていた財源を地方に還元すべき。
- 地方の住民は、都市部に比べ多くの揮発油税を負担してきており、これ以上地方の道路整備が滞ることは容認できない。
- 遅れている地方の道路整備のための財源が確保されなければならない。
- 高規格幹線道路などの幹線道路網については、国が責任を持って整備すべきであり、そのための財源は確保されなければならない。
- 道路整備の遅れている地域の整備を優先的に進めるため、例えば未改良率などを指標とした予算配分が必要。

1世帯あたりの年間揮発油税負担額



※算出根拠「H17センサスの全体乗用車走行距離」、「平成20年度道路関係予算概算(国土交通省)の平成20年度揮発油税率」及び「H17 国勢調査の世帯数」から算出。

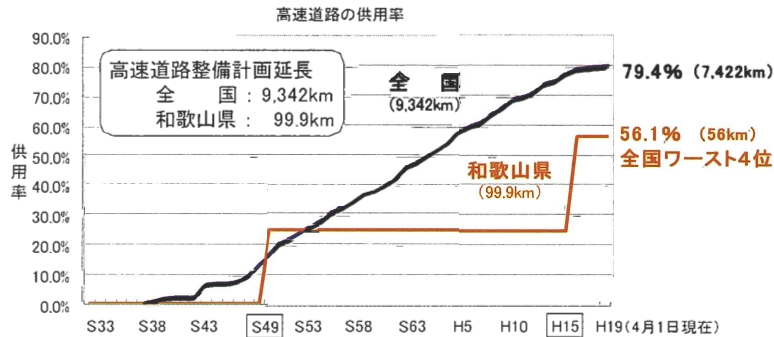
高速道路・国道・県道の投資額(全国シェア)の推移と比較



我が国の道路整備は都市部が先行してきた。地方への投資はやっとこれから

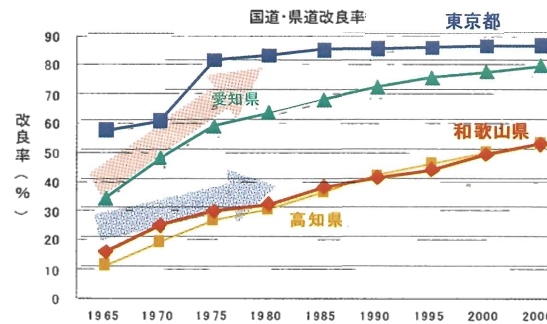
※算出根拠「道路統計年報」のデータより算出

高速道路の整備計画延長に対する供用率の推移



※和歌山県の供用率には湯浅御坊道路を含まず

国道・県道改良率の推移と比較



都市部の道路整備は40年以上前に加速
地方は未だ過去の遅れを取り戻せず

※出典:道路統計年報

3. 道路事業の評価に対する意見

(1) 現行の手法の問題点

日本の便益算出方法は、世界に類を見ない過小評価である。
人が暮らすための平等な権利の保障や、経済活動の基本的なチャンスの保障、安全・安心といった観点が評価されていない。

(2) 事業評価として加味すべき項目

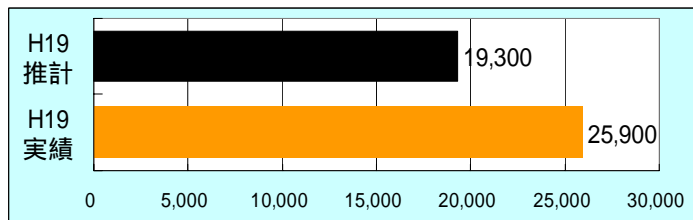
便益として評価すべき事項

- ・ 通行止め時迂回解消（高速道路等の整備により台風時などの通行止めに伴う迂回時間が大幅に短縮。）
- ・ 大災害時の経済損失軽減（高速道路等の整備により、東南海・南海地震など大災害発生時の経済損失が軽減。）
- ・ 救命率向上（重篤患者搬送時間の短縮により、救命率が向上。）
- ・ 観光振興等地域の活力向上（アクセス時間の短縮による観光客やその滞在時間の増加等。）
- ・ 環境改善（大気汚染、騒音、CO2排出の削減。）

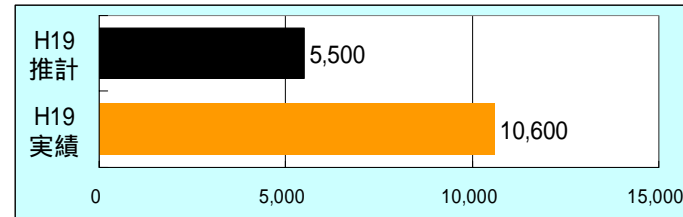
地域のポテンシャル特性を踏まえた便益の評価

- ・ 地方では、道路整備によりチャンスが生まれ、拡大し、それを活かしているため、新しい道路周辺での開発交通や、より遠くの目的地への目的地変更といった誘発交通量が発生し、交通量の実績は推計を大きく上回っている。

海南～有田 (単位:台/日)



みなべ～田辺 (単位:台/日)



【別紙】参照

現状	課題
<p>1. 県勢の低迷、県内産業等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少率（H12～H17）：3.2% 全国2位 ・高齢化率（H17）：24.1% 全国10位 ・県税減少率（H12～H17）：18.0% 全国3位 ・温州みかん、梅、柿などの果樹生産高：全国1、2位 ・生マグロ水揚量、タチウオ漁獲量：全国1位 ・観光客数：H19年 32,083千人（S60 H19 +32.5%） 外国人観光客数が世界遺産登録後、1.8倍 <p>2. 医療サービスの低下と発生確率が高まる大規模地震</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の地域偏在と特定診療科の医師不足 ・東南海・南海地震の今後30年以内の発生率 50%～70% <p>3. 立ち遅れた道路整備と維持管理の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道・県道改良率（H19.4.1）：52.1% 全国45位 ・高規格幹線道路14,000km供用率（H20.3）：46.5% 全国41位 ・20年後の築50年以上橋梁（15m以上）の割合：44%（386橋） 	<p>1. 県民の将来のチャンスの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急激な高齢化、人口減少下における自立した地域づくり ・地域間、地方都市間、大都市との交流・連携の強化 ・インフラ整備による新たな企業立地や地場産業への支援 ・販路拡大や輸送コストの低減による農林水産業の振興 ・世界遺産を中心とした広域観光ルート形成による観光振興 ・高速道路をはじめとした道路ネットワークの早期整備 <p>2. 県民の安全・安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次医療施設への搬送時間の短縮による救急医療体制の強化 ・東南海・南海地震等大規模災害に備えた緊急輸送道路の確保 <p>3. 道路ネットワークの早期確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点整備と選択と集中による効率的・効果的な道路整備 ・急速な高齢化が予測される橋梁をはじめとする道路構造物の予防保全による維持管理

本県は和歌山県長期総合計画（計画期間：平成20年度～平成29年度の10年間）に於いて、本県が持つ優れた特色（強み）を積極的に活かして県勢を発展させていく姿を『未来に羽ばたく愛着ある郷土 元気な和歌山』としている。

『未来に羽ばたく愛着ある郷土 元気な和歌山』を構成する6つの分野は以下のとおり

- 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山
- 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山
- 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山
- 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山
- 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山
- にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

将来像に関し、道路については、において下記のとおり整理

県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山


- ・大規模災害や台風、集中豪雨など自然災害に対し、被害を最小化するための基盤整備やソフト対策、災害発生時の応急対策、災害発生後の復旧・復興など総合的な防災対策が講じられ、県民の安全・安心が確保
- ・交通事故が減少するなど、県民が安心して日常生活を送ることができる信頼性の高い社会が形成

にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

- ・道路は、商工業・観光・防災・医療など、あらゆる活動の基礎となるインフラであり、ナショナルミニマムを保障する根本。
- ・豊富な観光資源、果実や海産物等の「食」資源など、本県の持つ地域資源が、道路網の整備により、関西圏のみならず、日本さらには世界に向けて発信
- ・道路網の整備により産業活動の条件も整い、さらなる企業立地が可能になるなど、県民のチャンスが拡大

今後の道路行政についての意見・提案
 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式
 和歌山県
 その他

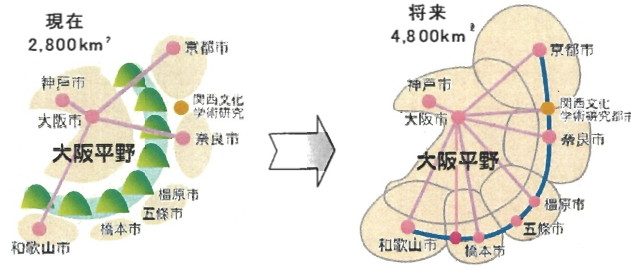
重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
<ul style="list-style-type: none"> 国際競争力の強化のための交通サービスの向上 地域活力の向上 都市交通の快適性、利便性の向上 大規模な地震、火災に強い国土づくり等 	<p>1. 高速道路ネットワークの整備</p> <p>(1) 紀伊半島を一周する近畿自動車道紀勢線の早期整備</p> <p>(2) 近畿自動車道紀勢線の4車線化</p> 	<p>期待する効果や評価等</p> <p>(1)(2) 近畿自動車道紀勢線</p> <p>1) 人が暮らすための平等な権利の保障 人が暮らすためのナショナルミニマム 医療・教育機会の平等 ・三次医療施設への救急搬送時間の短縮</p> <p>2) 経済活動の基本的なチャンスの保障 企業立地におけるチャンスの平等 ・紀中・紀南地域「南紀広域企業集積地帯構想」(有田市以南4市15町1村、H20年9月 経済産業大臣 基本計画同意) ポテンシャルを活かした観光や農林水産業の発展 ・世界遺産や温泉資源など豊富な観光資源を有する紀南地域への時間短縮による観光客の増加 ・水揚げ量日本一を誇る生マグロ(勝浦漁港)など農林水産物の京阪神、東京への輸送時間の短縮 高速道路渋滞区間の解消による本来機能の発揮 ・全国高速道路暫定2車線区間の交通量トップ10うち6区間がランクインされている、海南～御坊間の渋滞解消 ・対面通行による重大事故の解消</p> <p>3) 大規模地震など自然災害への備え 東南海・南海地震発生時や、風水害時の緊急輸送道路の確保</p>	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

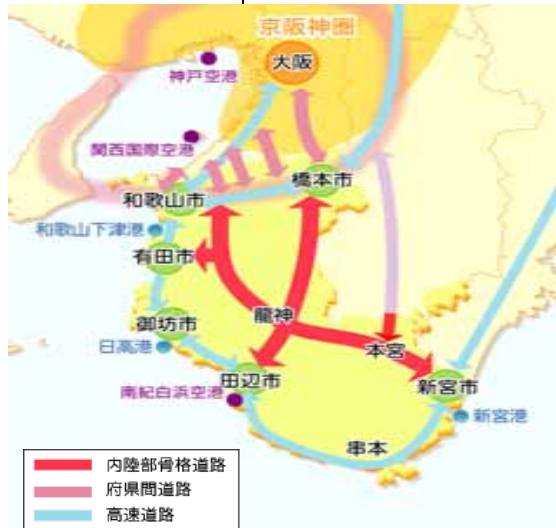
和歌山県

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<ul style="list-style-type: none"> 国際競争力の強化のための交通サービスの向上 地域活力の向上 都市交通の快適性、利便性の向上 	<p>(3) 京奈和自動車道の早期整備</p>  <p>現在 2,800km² → 将来 4,800km²</p> <p>関西大環状道路と府県間道路による大阪平野を中心とした関西都市圏の拡大</p>	<p>(3) 京奈和自動車道</p> <ol style="list-style-type: none"> 関西経済圏の活性化 <ol style="list-style-type: none"> 関西大環状道路及び放射状道路の形成により関西都市圏を拡大 地域産業の振興、企業立地への支援 <ul style="list-style-type: none"> 紀北地域「紀ノ川企業集積ベルト地帯構想」（橋本市以西 4市1町、H20年2月経済産業大臣 基本計画同意） 近畿各地域の個性を活かした広域連携 <ol style="list-style-type: none"> 癒しと心の安らぎにより近畿の魅力を高める 果実等特産物の輸出など関西国際空港を活かしたアジアとの交流促進 世界遺産を活かした広域観光ルートの形成 <ol style="list-style-type: none"> 京都から観光客を引き込む、京都⇄奈良⇄和歌山ルートの強化 <ul style="list-style-type: none"> 高野山などの世界遺産と京都、奈良とを結ぶ新たな観光ルートの形成 和歌山～奈良～京都 約170分→約100分 関空～高野山 約100分→約80分 	

今後の道路行政についての意見・提案
 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式
 和歌山県
 その他

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
<ul style="list-style-type: none"> 国際競争力の強化のための交通サービスの向上 地域活力の向上 都市交通の快適性、利便性の向上 	<p>2. 「選択と集中」による県管理道路の整備</p> <p>(1) 府県間道路の整備</p> <p>(2) 内陸部骨格道路 (X軸ネットワーク)</p> <p>(3) 基本的生活に不可欠な道路 生活圏30分圏域の拡大に資する道路のうち整備効果の高い道路 高速道路ICから60分圏域の拡大に資する道路のうち整備効果の高い道路 防災上、交通安全上必要不可欠な道路 あと少しの整備で効果の出る道路</p>	<p>期待する効果や評価等</p> <p>(1) 府県間道路 1) 京奈和自動車道と合わせ関西都市圏を拡大 大阪・和歌山の交流連携強化 ・ 国道371号橋本PA入 府県境部の渋滞解消、橋本市周辺の企業団地への企業立地の促進 ・ 泉佐野岩出線 関西国際空港へのアクセス時間の短縮</p> <p>(2) 内陸部骨格道路 (X軸ネットワーク) 1) 高速道路を補完し県内主要都市間を結び県内の一体的発展に寄与 ・ 国道168号越路道路、国道424号修理川PA入、国道425号福井PA入等の平成23年度までの概成</p> <p>(3) 基本的生活に不可欠な道路 生活圏30分圏域の拡大 ・ 人口カバー率：約80% 約90% 高速道路ICから60分圏域の拡大 ・ 人口カバー率：約80% 約90%</p>	



府県間道路・内陸部骨格道路



時間圏域と道路整備のイメージ



あと少しの整備のイメージ

今後の道路行政についての意見・提案
 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式
 和歌山県
 その他

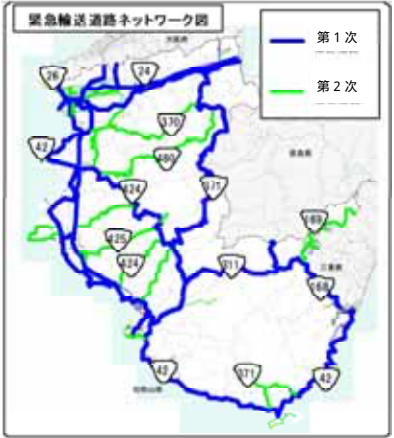
重点事項

- 大規模な地震、火災に強い国土づくり等
- 水害等の災害に強い国土づくり
- 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化

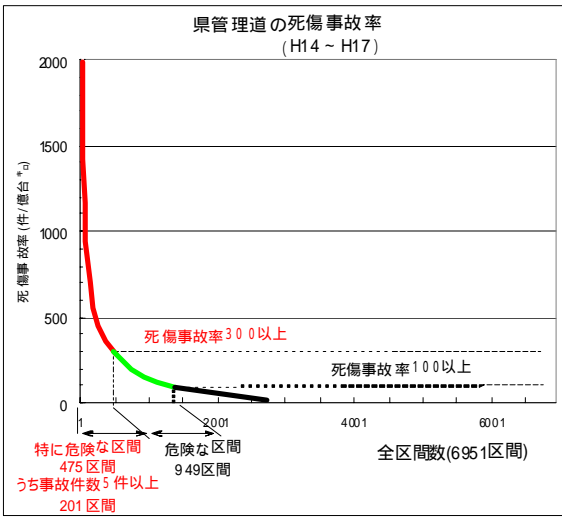
代表事例

3. 「選択と集中」による効率的な橋梁・法面・交通安全対策

(1) 橋梁耐震化
 (2) 地震・風水害に対する道路法面強化



(3) 死傷事故率の高い箇所の交通安全対策



期待する効果や評価等

(1)(2) 橋梁耐震化・道路法面強化
 ・緊急輸送道路を集中的に整備し、30年以内に発生する確率が高いといわれる東南海・南海地震による大規模災害時の救助活動や物資輸送の円滑化

事例
 国道311号(真砂大橋)耐震補強工事



(3) 交通安全対策
 ・特に危険な箇所について歩道設置や交差点改良を行うことによる効果的な交通安全対策
 死傷事故率300以上、事故件数5件/4年以上

事例
 県道粉河加太線交通安全事業(和歌山市梶取)
 死傷事故率1,397、事故件数32件/4年



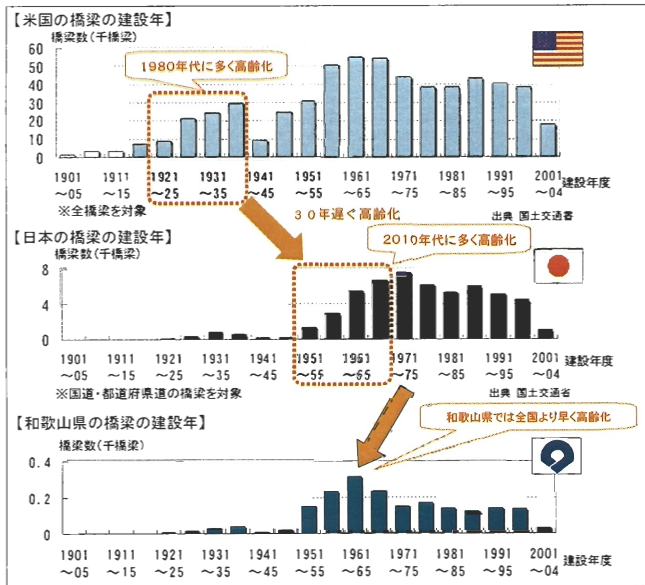
○重点事項

- ・ 計画的・効率的な維持管理や更新の推進

○代表事例

4. 適切な道路の維持管理

(1) 橋梁等の道路構造物の長寿命化



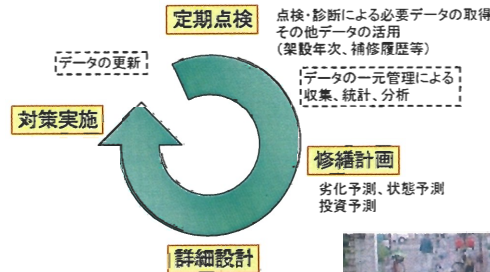
- (2) 沿道住民・企業等との協働による道路の維持管理を行う「わかやま道路パートナー」制度への取り組み
- (3) 地元住民に密着した生活関連型の道路補修等の充実

○期待する効果や評価等

(1) 道路構造物長寿命化

- ・ 和歌山県では築50年以上(15m以上)の橋梁が96橋(11%)あり、20年後には386橋(44%)となり、急速に高齢化が進むことから、維持管理費が増大
- ・ 維持管理サイクルを継続し予防保全に集中することで、今後のライフサイクルコストを縮減

維持管理のサイクル



(2) わかやま道路パートナー

- ・ 良好な道路環境の効率的な維持管理及び沿道住民等の道路への愛着心向上



(3) 生活関連型道路補修

- ・ 子供や高齢者、障害のある人の目線での要望も含め、道路修繕要望に早急に対応できる道路の維持管理を実施
側溝修繕、段差解消等の要望に早急に対応することで道路行政に対する理解向上



○その他